

輸送量6%増、米関税で駆け込み需要

■アジア太平洋航空会社<3月>

アジア太平洋航空会社協会（AAPA）が4月29日発表した2025年3月実績（速報値）のうち、国際貨物の輸送量（貨物トンキロ=FTK）は前年同月比5.7%増の67億8300万だった。有効貨物トンキロ（AFTK）は4.7%増の105億9300万。貨物ロードファクター（LF）は64.0%と0.5

ポイント上げた。米国の関税措置を見据え、一部路線で航空貨物の駆け込み需要があった。また、eコマース（EC）の需要も旺盛だった。

スバス・メノンAAPA事務局長は、今後について「世界の株式市場は不安定な動きを見せ、主要な製造拠点であるアジアの輸出中心経済の先行

きに不透明感がある。この不透明感は消費者や企業に圧力をかけ、今後数カ月の旅客・貨物需要を軟化させる可能性がある」とした。AAPAの調査対象は全日本空輸、日本貨物航空、日本航空を含むアジア太平洋地域の計37社の国際線スケジュールサービス。